



公立幼稚園だより わくわく

(発行)

豊後大野市公立幼稚園会

令和 3 年 11 月 1 日

こんにちは。みなさん、豊後大野市内に公立幼稚園が5園(三重・東・新田・おおのさくら・千歳)あることはご存じでしょうか。今回、公立幼稚園が子どもにどのような力を育みたいと考え、どんなことをしているか、少しですがご紹介します。

小学校と連携

ワクワクする活動



たくさんの人と
つながる中で
「生きる力」を
育てます



地域との交流

★裏もみてね★

遊びから学びへ

活動の中で

かえるになって遊ぼう！
～表現遊びから～



「私のジャンプ、すごいでしょ」



「かえるのおうちを作ろう！」
「かえる池もあったらいいね」
集まって相談しています。



ダンボールを使って、かえるの
おうちと池作りの真っ最中。



わ～い！池の水がいっぱい♪
ちぎった新聞紙が池の水に大変身。
みんなの遊びはこのあとも続き、
う～んと楽しみました。

たっぷり遊ぶ幼稚園

幼稚園では、広い園庭で思いっきり体を動かし、自然に触れ、季節を感じながら様々な体験を積み重ねることを大切にしています。

「遊び」は「学び」

例えば「鬼ごっこ」。逃げたり、追いかけたりする中で体の使い方や体力が身につきます。次にどうしたらうまくいくか考え、次第に友だちと協力するようになります。この時期につけておきたい能力(学び)が、遊びを通して得られるのです。

「自ら育つ」を促す先生

一緒に遊びながら、子どもの経験や成長の違いを把握。そこから、子どもが自ら活動を進めていけるように支え、子ども同士をつなげる事でより成長させる、「幼稚園教育要領」に則った指導を行っています。

小学校教育の基盤

幼稚園教育要領には『遊び、生活する中でこそ、本当の「学びの芽」が育つ』と示されています。これこそが小学校教育へつながるための幼稚園教育の本質であり、公立幼稚園では日々実践しています。

長年の取組「小学校との連携」

公立幼稚園は小学校に隣接しており、校長先生＝園長先生で教頭先生も同じです。かなり前から、幼・小は行事を一緒にし、定期的な交流を続けています。そのため園児は安心して、小学校に入学することができます。

預かり保育の中で

幼稚園の預かり保育では、子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、好きな遊びをしながら、ゆったりと過ごせるように配慮しています。今日は、1人の遊びから何か始まりました。



「ぼく、魚を描きたい」



すると何人かが一緒に描き、何日かすると、バケツや竿を作り始める子も…



魚釣りを盛り上げようと友だちと一緒に海を作り始めました。



日によって人数も各自の遊びも違いますが、気づくとみんなでお遊んでいました。

”学びの芽”の育ちを
もっと知りたい方はこちら ⇒